



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 54 号

2008.7.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

お知らせ

- 一 観察会の日程変更および集合時間の変更
- 一 高原の自然史 第 13 号を発行

活動報告

- 一 阿佐山の植物観察会
- 一 熊城山の植物観察会
- 一 龍頭山の野鳥観察会
- 一 霧ヶ谷実験地の植生調査

観察会案内

- 一 霧ヶ谷湿原のいきものハイキング
- 一 こども観察会 - 自然と遊ぼう -
- 一 可愛川の水生生物観察会
- 一 龍頭山の昆虫観察会

お し ら せ

● 観察会の日程変更および集合時間の変更について

カワシンジュガイの観察会の集合時間が変更になりました。

8月10日（日）13:00 集合 → 9:30 集合

雲月山の植物観察会の日程が変更になりました。

8月24日（日）9:30 集合

→ 8月23日（土）13:30 集合

● 高原の自然史 第 13 号を発行しました

販売価格は 1,500 円です。

ただし、西中国山地自然史研究会の会員は、割引価格の 1,050 円で購入できます。

【目次】

土師ダム上流域の景観構造の定量化

磯崎由行・中越信和・菊池亜希良・藤原武夫・坂村 晃

雲月山火入れ草地の維管束植物

佐久間智子・白川勝信

ダム事業におけるクマタカの保全と行動圏の変化及び幼鳥の餌内容

吉津祐子・畑本英信・山田勝美・加藤淳司・上野吉雄

広島県臥竜山麓におけるホオジロ科鳥類 3 種の生息環境選択

上野吉雄・森 春彦・小柴正記・藤原俊二・吉野由紀夫・白川勝信

広島県臥竜山麓の放棄牧草地における鳥類の環境選択

白川勝信・上野吉雄

中国地方におけるキバシリ *Certhia familiaris* の営巣初確認

上野吉雄・保井 浩・小柴正記・藤原俊二

観 察 会 報 告

● 阿佐山の植物観察会

開催日時：2008年6月8日（日）9:30

講師：齋藤隆登，佐久間智子

芸北地域の東側にある阿佐山に登りながら植物を観察しました。阿佐山は西側にある苅尾山や掛頭山に比べて切り立っており，植生もずいぶん異なるようです。今回は，例年とは違う畳山麓からのルートを選びました。雑木林を登ると，炭焼き窯の跡が残っています。細い木が多く，明るい林床では，タニギキョウがきれいに咲いていました。ここではヒメモチという植物が，今年新たに見つかりました。雑木林を抜けて植林地に入ると，少し様子が変わります。ただ，他の場所で見られる植林地に比べても，林床の様子が違うようです。地質のせいでしょうか？たくさんのショウジョウバカマが種を付けていました。途中のピークで昼食を取った後は，一気に阿佐山山頂を目指して歩きました。山頂では，今年もオオナルコユリが待っていました。帰りには少し雲行きが怪しくなりましたが，最後まで雨が降ることはありませんでした。駐車場に戻ってまとめをしました。今回は，齋藤先生，佐久間先生の他にも，調査協力者の方々が来られていたので，より多くの植物を見つけることができました。特に，普段は目につきにくいシダのお話しも聞くことができました。[しらかわかつのぶ]



今回の発見，ヒメモチ。



葉っぱが5枚のツクバネソウ。



齋藤先生の話は，道路法面の植物からはじまった。



カミキリムシが出てきた穴。大きいことにビックリ。



阿佐山の山頂付近は、若いブナの下にササが広がる。



阿佐山の山頂で、オキマリの集合写真。



二人の先生が小さな花にセマル。



最後に、駐車場で先生方からの講評があり、解散。

【みなさんの印象に残った物】

「マンネンスギ・キンキヒョウタンボク・ヒメモチ・湿地」「クロジ・セグロカッコウ」「ショウジョウバカマとギンリョウソウ」「全員頂まで登れて良かった.」「植物が非常に多い」「新しい所から山に入ることができました.」「ショウジョウバカマの群落」「おたまじゃくし」「皆様の熱心さにおどろき」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「雨がふる事でしたが大変いいお天気恵まれ、緑の中を楽しく先生方の説明を聞きながら、大変楽しかった.」「思ったより高く、私としては大変でしたが、登ることができてよかったです.」「今日は無事帰れました.」「緑の葉がきれいでした. のぼりやすい山でしたね.」「それぞれ専門の方の話が聞いて大変参考になった」「大変感じのよい御案内でした」「観察会なのか山登り、歩きがメインなのかよくわからない」「皆様のふんいきがよかったです」「天気にも恵まれ、たくさんの植物観察ができよかったです.」「グループに分かれて歩けばよかったかな」「けっこう長い距離でつかれましたが、涼しくて気持ちいい山でした. 山頂まで行けて良かったです.」「とてもおもしろかったです.」「長く歩いて山頂に行けて良かった」「頂上に登れて大満足です」

観 察 会 報 告

● 熊城山の植物観察会

開催日時：2008年6月14日(土) 9:30

講師：齋藤隆登, 佐久間智子, 和田秀次

大朝のテングシデ公園からは山頂まで道が付いている熊城山ですが、今回は予定を変更して、サクラソウの自生地に駐車して、芸北と大朝の区域界から登りました。道路沿いを歩いただけでも、ヤマボウシやハンショウヅル、フタリスズカなど、いろいろな植物が目を楽しませてくれました。登り口は、スギとヒノキの植林です。境界を進んでいったので、林床が明るくて植物が多いスギ林と、暗くて林床が空いているヒノキ林の違いが良く分かりました。少し水平に進んだ後、若い雑木林の中をまっすぐに登っていきます。ここでは、花の白いコアジサイがきれいに咲いていました。頂上に向かう前に、鞍部で昼食を取りました。鞍部からはかなり急な尾根を登って行きました。植林の中なのですが、境界の印に残したのでしょうか、大きなブナが見られました。脇には実を付けたハナイカダもポツポツと見られました。山頂に近づくと、オシダがたくさんありました。シダの専門家の松村先生に教えていただいたので、みなさん覚えたことでしょうか。山頂に出ると、大朝からの道路が上がってきています。ここにはたくさんの植栽樹があり、少し異様な樹林になっています。植樹の観察はそこそこに、早々と下り始めました。下りで何度か道を迷いそうになりましたが、境界木のブナが正しい道を教えてくれました。帰りにはサクラソウの自生地も見学して、解散しました。[しらかわかつのぶ]



道路にせり出したヤマボウシ。今年は花付きが少ない？



植林の中を進む。斜面上のスギ林と下部はヒノキ林で、林床が全く違っている。



クマが皮を剥いだコシアブラ。



急な斜面を登った。



山頂近くには、大きな岩があった。



山頂で植栽の話しを聞く。どこかに行ってるのはダレですか!?

【みなさんの印象に残った物】

「アサギマダラが見れた事」「熊城山の裏から登って嬉しかったです。」「天気もよくゆっくり植物を見ることが出来ました」「オシダがわかった(イノデと思っていた)(2)」「ウワミズザクラを見たこと」「サンコウチョウが見れたこと。」「珍しい植物がたくさんあり、びっくり。ハンショウヅル、ツクバネソウなど」「正規のルート以外を歩いたこと」「植木鉢でしか見ていない草花が、山中にさいていて感動しました。」「ハンショウヅルの美しさです。」「たくさんの植物に出会えたこと。」

「急な山だったが色々な植物に出会いとても勉強になりました。」「皆様とてもよく知っておられるので感心しました。」「ブナの木があった事・トチバニンジン・フタリシズカ」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「なごやかでした」「ハンショウヅル、初めて見て感動しました」「いろんなジャンルの講師のお話が聞けて大変よかった。」「下りコースは注意!!」「もっと図鑑を毎日ながめて、予習をして次回のぞみます。帰って復習もしましょう。」「初めての参加でしたが、講師の説明もマイクでわかりやすく聞きやすかったです。」「大変楽しい山歩きでした。鳥の事も何種類か聞いたのしかったです。」「天気もよくいつも歩けないコースを歩けたこと」「色々な草花がみれてうれしかったです。」「とても楽しいひとときでした。」「ゆっくりと植物を観察しながらの山行。すばらしかったです。」「帰り道のことですが、良く道の分かった人が誘導すれば良かったと思いました。」「自然にふれて、めずらしい植物も見ることができとても良かった」「楽しく植物を見ました」

観 察 会 報 告

● 龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2008年6月15日（日）6:00

講師：上野吉雄

早朝にもかかわらず、12名の参加者がどんぐり村駐車場に集合しました。早くも参加者同士で鳥情報がとびかかっており、観察会への意気込みも伝わってきました。今日の講師は上野先生です。龍頭山登山道口付近まで車で移動し、近くの池から観察スタートです。水辺にいたカワガラスやツバメの姿を見たり、鳴き声を聞きました。車道沿いを少し歩くと、今度は電柱の上に巣をつくり、そこに出入りしているシジュウカラの姿を見ました。カラ類の姿や声はよく似ているので、胸の模様や鳴き声の特長を近くにいた人同士で確認したりしました。上野先生がヒガラの鳴き声を「シーチキン、シーチキン」と表現していたのがおもしろく、覚えやすいなあと感じました。もう少し進んでいくと、カワラヒワやキビタキ、トラツグミなど多くの種類の鳥声を聞くことができ、その鳥の生態や特長を上野先生が身振り手振り、時には鳴き声のモノマネを交えてお話くださいました。山道に入り一列になって歩きました。ここではキツツキの仲間であるアオゲラやコゲラの鳴き声が聞こえ、オオアカゲラがコツコツと木をつく音も聞こえました。上野先生によると、オオアカゲラは頭が赤いので「赤帽」、アカゲラは下腹部が赤いので「赤ふん」と言うそうです。これまたおもしろく覚える方法を聞くことができました。またこの付近でアカショウビンの声も近くで聞くことができ、それだけで早起した甲斐があったねと参加者のみなさんと話しました。山道を下っているときに聞こえてきた「シシシシ・・・」という虫の鳴き声のような声にみんな首をかしげていると、上野先生が「ヤブサメという鳥の鳴き声です」と教えてくださいました。この鳴き声の正体は今まで虫だと思われており、ここ数年の研究でヤブサメだとわかったようです。この後もゆっくりと歩き、じっくりと鳥の姿を探したり、鳥のエサとなる植物の話の聞いたりしました。車を停めた場所まで戻り、簡単にまとめをして解散となりました。今回の観察会では10種の鳥声を聞き、10種の鳥を見ることができました。図鑑で

しか知らなかった鳥たちと、実際の生息地で出会うことができたのは大きな喜びでした。またこの観察会に、書き込みの入ったマイ図鑑を持参していた小学生の参加者の姿を見て、大変頼もしく感じました。次回の観察会ではどんな鳥たちに出会えるか楽しみです。[このやよい]



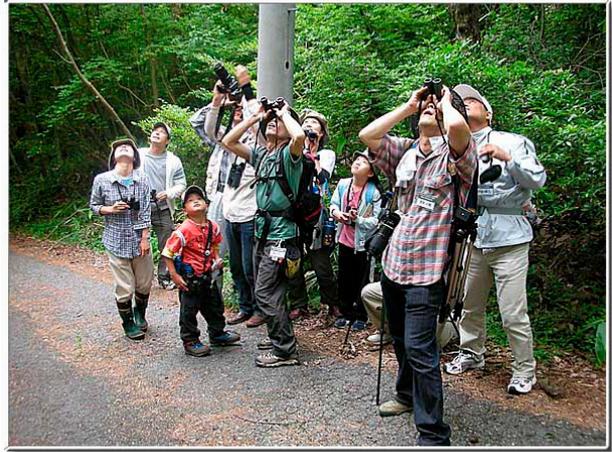
鳥がどんなところに生息しているのか、どんな大きさなのか、どんなものを食べているのか・・・など参加者からの質問に答える上野先生。



池まわりで観察開始。遠くに見える鳥はなんだろう？



みんなで耳をすませ、鳥がいる方向を探る。



「あ、あの樹の上にいるー」という声で、参加者全員の視線は上に。



樹上の鳥を観察。フィールドスコープを覗きたい・・・でもムズカシイ！



あっというまの観察会だった。参加者からも「今日は楽しかった！」という声があがった。



早朝の山歩きはそれだけでも楽しいが、たくさんの鳥に出会えてとても満足した。

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

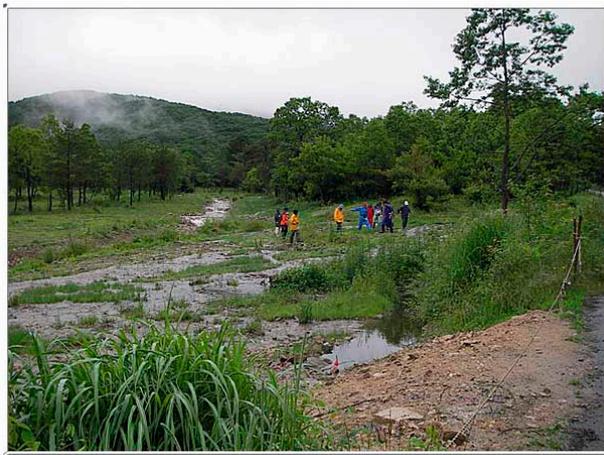
「いいものを出してくれてありがとう」「鳴き声だけでも満足しましたが、姿まで見れて大満足でした。とても充実した観察会でした。」「こんどもあればきてみたい」「身近に豊かな自然があることはすごいことだと思いました。」「上野先生の口笛は最高でした！！」「感動的な出会いができて良かったです。」「早起きしてよかったです。」

観 察 会 報 告

● 霧ヶ谷実験地の植生調査

開催日時：2008年6月29日（日）9:30

その朝は強い雨と雷で早朝に目が覚めました。雨だけならなんとかかなるのですが、雷がひどく続くようなら中止も考えないといけません。そもそも参加者の方達が来られないかもしれません。それでも、研究会の携帯電話は鳴りませんでした。集合時間が近づくとつれ、次第に雨脚も弱くなり、参加者のみなさんも集まってきました。事務局の心配を余所に、みなさんはやる気満々です。まず、昨年までの経過について、学会で発表した内容を佐久間さんが紹介してくれました。再生事業の現場を見るのははじめて、という方もあったので、まずは実際に再生が行われている現場を観察してから、3班に分かれて調査を開始しました。今回の調査でも、ずいぶん湿地の植物が増えているような印象でした。また、実験地内のカラコギカエデが弱っていることが、目に見えて分かりました。水をまわしただけでも、湿地の植生に近づいていることが実感できました。実験地のまわりでは、ヒメシジミが飛び交い、冬虫夏草(?)も見ることができました。実際の事業地も変化が見られ、今後も霧ヶ谷から目が放せません。[しらかわかつのぶ]



再生事業地で堰などを見学した。水がたくさん流れる。



プロットを探して調査開始。



調査を始める前に、館内でこれまでの経過を聞いた。



全ての種の高さを測る。



まずは写真撮影から.



調査を終えて、記念撮影.



以前のデータと比較して確認.



ヒメシジミは雄が多かった.

【みなさんの印象に残った物】

「昨年より植物が少ないと思う.」「ヒメシロネの群落が増えていた. (カエデの下のところ) (2)」「自然の強さ」「植生の変化」「雨の中で調査できたこと.」「ヒメボタル」「調査地のカラコギカエデが弱ってきてきていたこと.」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「雨の中の観察, 大変と思ったがとても楽しい.」「地道に続いている活動が自然再生の大きな流れになっているといういことはすばらしいと思います.」「環境がいかに大事かをここに参加しますと思います.」「予想通りの湿原植生への変化が楽しみです.」「普段と違う視点で植物を見ると, いろいろなものが見えてくるのがよく分かった.」「湿地の中に入らないと見られない植物が見れてよかったです.」「イとヨシが増えていた感じがしました.」「自然界の変化は長い時間かけないとわからないので, エコに関する事柄は早めに対応の要ありと思います.」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 霧ヶ谷湿原のいきものハイキング

開催日時：2008年7月13日（日）9:30
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治、和田秀次
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：300円（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

自然再生事業が進められている霧ヶ谷湿原で、いきものの観察をしながら歩きましょう。春にはカスミサンショウウオやヤマアカガエルの卵塊が確認されています。この時期にはどんないきものが生息しているのでしょうか。また植物と昆虫の関係や植物の名前の覚え方など、おもしろいお話も聞くことができますよ。

● こども観察会 - 自然と遊ぼう - 【小学生限定】

開催日時：2008年7月27日（日）13:30
集合場所：高原の自然館
講師：佐久間智子・小宮啓吾
準備：長袖・長靴・長ズボン・おやつ・タオル・水筒・ぼうし・メモ帳・筆記用具・雨具
定員数：30名
参加費：小学生100円（ただし、保護者は無料）

自然館付近の湿原や草原で、小さな生き物たちの観察会を行います。虫眼鏡を使い生き物の観察したり、その生き物の体のしくみのお話を聞いたりします。夏休みの自由研究のヒントにもなりそうです。対象は小学生です。必ず保護者と一緒にご参加下さい。

● 可愛川の水生物観察会

開催日時：2008年8月3日（日）13:00
集合場所：千代田中央公民館
講師：内藤順一
準備：基本セット、水に入れる服装、箱メガネ
定員数：30名
参加費：300円（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

千代田地区にある可愛川で、水生生物の観察会を行います。実際に川に入り、五感をめいっぱい働かせ、観察しましょう。水の中に入れる服装でお越しください。ゴーグルや箱メガネ、網などがあると便利です。

● 龍頭山の昆虫観察会

開催日時：2008年8月3日（日）17:00
集合場所：道の駅 豊平どんぐり村
講師：岩見潤治、清水健一
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：300円（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

去年に続き、豊平地区にある龍頭山で昆虫観察会を行います。なかなか体験することのできないライトトラップでの昆虫観察は、たくさんの昆虫が集まり、眺めているだけでも楽しいです。冷え対策と虫さされ対策をしっかりとお願いします。少し夜が遅くなりますが、お子さんの夏休み体験にもぜひおすすめです。

連日のように雨が降っています。特に今日は妙な降り方で、激しい雨になったかと思うとお日様が顔を出す、という繰り返しです。夕方に雨が上がったので自然再生事業地に行ってみました。導水路が掘られた場所では枯れたサクラの枝にモリアオガエルが産卵していました。少しでも時間ができれば再生事業地を見に行くのですが、毎回、色々な変化が見られます。またひとつ、八幡が楽しい場所になりました。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info